

橋本駅周辺 スイスイ作戦 ニュース

5

第5号 / 平成22年10月

社会実験に向けて!

8月21日(土)、相原高校会議室において、第5回TDMワークショップが開催されました。これまでのワークショップの結果を踏まえて作成した社会実験メニュー案について、実施時に問題は起きないか、またワークショップメンバーが実験にどうかかわっていくか、について意見交換しました。

社会実験メニュー案は、交通規制の見直しやバス優先の交通環境づくり、駅前広場のレイアウト変更など、公共交通の利用を促進するとともに橋本駅南口へのアクセス性を向上させるものになっています。

マイカーで橋本駅を利用している人にとっては、駅へのアクセスルートが規制されるメニューもありますが、駅前広場以外に設置した乗降場を利用したり、全席指定の通勤バスを利用するなど、マイカー以外の手段も選択できます。混雑解消に向けて、ひとりひとりに「かしこいクルマの使い方」について体験して考えてもらうメニューになっています。



社会実験メニュー案

いろいろ混雑解消! 実験

- 右折禁止など、交通規制の見直しにより渋滞を緩和します

駅前広場以外の乗降場

- 駅から離れたところに設置した乗降場でマイカーから乗降していただけます

快適。座席指定バス! 実験

- 津久井・城山方面から乗客全員が着席できる通勤バスを運行します

駅スイスイアクセス! 実験

- 通勤・通学時の一般車に対する交通規制を行い、バス・タクシーの専用レーンを作ります

かしこい駅前広場の使い方! 実験

- 客待ちタクシーの待機場を駅前広場以外に確保し、バスの乗降場を変えるなど、全体的なレイアウトを変更します

このメニューはあくまで、ワークショップや委員会での提案です!
現在、関係者と実施に向けた協議を進めているところです。

橋本地区TDM推進キャラクター
渋滞解消しタイ(鯛)

社会実験メニュー案について考えました!

社会実験メニュー案について、実施する上での課題としてワークショップでは次のような主な意見が出されました。

- 一方通行化や右折禁止などの通行規制では、迂回する交通により周辺の生活道路や交差点へ影響がでるのではないか
- 実験中は、沿道の荷さばき車両や協同病院の来院車などの対応を考える必要がある
- 駅前広場のレイアウトを変えるとかえって混乱して危険ではないか? 交通誘導員の配置など安全対策が必要だ
- アリオのオープン後は車の流れが大きく変わるので、オープン後の交通動向を考慮して実験内容を再検討

する必要がある

- マイカー送迎の駅へのアクセスが制限されるなど、実験開始時には相当な混雑が想定されるので、実験のPR、啓発や周知がとても重要だ



- 社会実験をきっかけに、まちのイメージアップ!につなげてはどうか? 例えば、日本一美大学生が集まる街を活かしたPRや、相原高校の食品開発とタイアップしたイベントの開催など

今後のワークショップについて



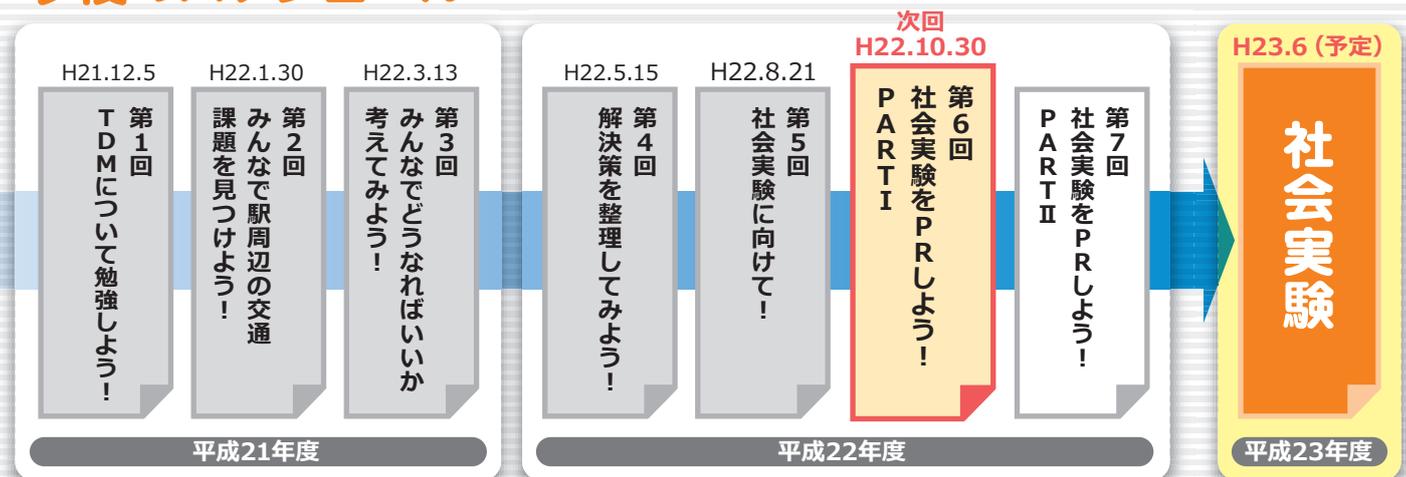
平成 18 年の愛川線社会実験では PR も兼ねて市民ボランティアによる歩道への花植えを行いました

今回のワークショップでは社会実験の PR などの意見出しだけでなく、もう一歩すすんで、実験の PR 活動など、「社会実験に取り組もう!」と題して、実験中も市民の皆さんと活動したいことを事務局から提案しました。これに対し、ワークショップ参加者から賛同を得ることができました。

また、その取り組みに向けて、「『まちづくり』の視点から参加を呼びかけるべき」、「自治会のまちづくり会議、観光協会や商業関係者、地域の住民の方々にも協力や参加を募ってはどうか」という意見がありました。

こうしたことから次回の第6回では、来年6月に迫った社会実験に向けて、市と市民のパートナーシップの取り方、PR や周知の方法について意見交換を行います。

今後のスケジュール



第6回ワークショップ開催のお知らせ

- 日時 平成22年10月30日(土)
午後1:30~4:30
- 場所 サン・エールさがみはら 第1研修室
- 内容 社会実験をPRしよう! PART I

<事務局> 相模原市 都市鉄道・交通政策課 ☎042-769-8249

このニュースを見て興味があった方は、ぜひご参加ください。都合の良い時だけの参加でも結構です。お気軽にどうぞ。
※要事前申し込み

